

いいひと

佐溝貴史

[あらすじ]

性格のいい奴をうらやましがると、鬼がそいつを襲って嫌な奴にしてくれる

[配役]

A (あらいちゃん)

B (ベーやん)

C (うっちー)

D (だいちゃん)

鬼

彼女 (二人の役者が必要)

明転。軽めの音楽。BCDは無音でマイム。BDがいて、Cが遅れて入ってくる。
全体的にとっても楽しそうな雰囲気漂っている。Aにサスが当たる

A 今日私の〇〇のお祝いということでみんな集まってくれています。
何のお祝いかは本筋には関係がないのでとくには決めません。
でも、そんな大したことがないお祝いです。

B 〇〇祝いにかんぱーい！（とてもくだらないお祝い）

A 〇〇だったみたいです。えー！そんなお祝いだったの？！

この3人は私の友人で、見てもらえればわかりますが、気のいい奴等ばかりです。

彼はベーやんくん。とってもおおらかでやさしいんです。

B (おおらかで、器が大きいセリフ。ギャグ。)

A うーん、すごい。

だいちゃんです。堂々としてて、はきはきしてて、でも謙虚で。

D (堂々として、はきはきしてて、できれば謙虚なセリフ。体育会系的。ギャグ。)

A ま、ちょっとあれなところはありますが十分ステキです。

でうっちー。全然人見知りしなくて、だれとでも仲良くなれる子です。今日も、だいちゃんとは実は初対面なのですが、全然そんな風には見えません。それも彼女がこれだけ気遣いができてうまくしゃべれるからなのでしょう。

C (すぐ仲良くなれて、よくしゃべれるセリフ。サバサバ系。ギャグ。)

A そしてみんな笑顔が素敵で。

とても私は彼らみたいにはなれません。笑顔が素敵で…、明るくて…、気がよ
くて…、

D アジア系で…

C 幸が薄くて…

B 色白で…

A 勝手に付け加えない！自虐！そんなこと言わないから！…ノリもよくて…。
…いいなあ。…うらやましいところを挙げていったらきりがありませんが、と
にかく彼らが友達でいてくれることに私は感謝しないといけません

舞台全体が明るくなる。

B (Aに) どうしたんだよ、ほら(座れよ、と促す)

A あ、ああ。今日はありがとね。こんな。

C どうしたのさボーっとして

B あ、ボーっとして思いました。今日はアライちゃんにプレゼントがありまー
す(Dと取りに行く)

D えなんで、何で思い出したんだよ(笑)

C 早速?! はやくない?

B いいじゃんいいじゃん。

A えーみんななに? —てかうっちーだいちゃんと初対面だよね?

C うん。でも全然そんな感じなくてさ。話しやすいよね、だいちゃん。

A いやー、うっちーがすごいんだと思うよ。いいよなあ。

BD、ハケからやたらでかい袋を持ってくる(鬼が入っている)

A (袋を見て) って、でっか! まるで人が入っているかのよう!
なに、開けていいの?

B はい、だめです。

A じゃあなんで持ってきたの?!

C うそうそ、開けてみて。

D えー、みんないいやつすぎるよー。

みんなにこにこしている。袋の中から鬼が現れる。BCDはストップ

鬼 うらやましいか(足がでているが、袋は箱に隠れている)

A えーどわあああああ!!!!

なんで足からでてくるの! 逆でしょ普通! 何言ってるかわかんないよ!

鬼 おまえをこいつらよりいいやつにしてやるよ。

A え…?

鬼　こいつらがうらやましいんだろう。
A　　（頷く）
鬼　なにがうらやましいんだ。
A　　…すごい笑えるところ。みんないい顔してる。わたしにはできない。
鬼　わかった。お前の方がいい顔できるようにしてやるよ
A　　・・・なれるの？
鬼　　（頷く）
A　　（ごくり）

鬼、おもむろになにかをしようとして、袋の中にもどる。

A　　え戻るの？

BCD 動き出す

C　　さ、ほら開けてみて。
A　　えーこれを？！ 嫌な予感しかしないよこれ絶対！
BCD　へ？！（タイヤ店長みたいに倒れる）
A　　え！？ あ、ごめん・・・や、でもだって！でもうそうそ！

BCD、復活。ぱあっと明るくなる

D　　うそうそ、そりゃ怪しいよなこんなでかい箱（箱をける）
C　　そりゃそうだよ。でも大丈夫だよ（派手にたたく）
B　　ま、怪しくないから開けてみてよ（くすぐる）
鬼　　ぐっ
A　　ええええ！！！！ さしたよ！　ほんとに大丈夫？！
C　　大丈夫大丈夫、ほら、開けてみて？

A、袋の中身に期待しつつ不安を抱きながら。

BCD すごい奴の顔をしている。全員笑顔。

A　　みんないい顔だあー！　私もなれたらなあー！！（箱を見て）・・・これで。

A、期待が勝ち袋を思い切って開ける。鬼が飛び出てきて、BCDを襲う。

鬼　　ヴァアアア！！！！
BCD　ぎゃあああ！！
A　　えーえーえー！　はなしがちがーう！！！！

女性には優しい

C あ、やさしい。

A なにー?!!

起き上がると BCD 全員変な顔になっている

BCD (口々に)・・・びっくりしたー

A (全員が変な顔をしているという構図に対し) なにこれー!!

鬼 (4人の顔を並べつつ) お前の方がまだいい顔できるようにしてやったぞ。

A 私の方がいい顔って、、、えー!!! そういうこと!? 違うよそういうことじゃない!

鬼 おまえの方がいい奴になれたんだよ

A (おおげさに) 相対的に!? 私の方が素敵になっちゃうのー?! (戻って) やだよ! そんなの。

鬼 おまえ十分ノリいいんじゃないか?

A ちがうの。

D (Aに) どしたの? 大丈夫?

A え? (ふりかえって) 怖!

B あ、(グラス) カラだね。2杯目飲む?

C 飲むー!

A あ、ああそうだね、すみません (小さい声) あ、、はは、、気づいてくれないね、あのいかっちい店員さん。

D ああ、大丈夫大丈夫。すみませーん! (さわやかに) ね?

A ありがとう。私声通らなくて。だいちゃん、あんな堂々と大きな声で喋れて…

鬼 うらやましい?

A あ!

鬼、Dを襲う。じゃんけんしようとして殴る

鬼 ヴァアアア!!!

D ぎゃああああ!!!

(めっちゃ小声) ビーチフィズとジンジャーハイボール (しばらく店員と会話。声が小さくてオーダーが通らない)

A 声小さ! ビーチフィズとジンジャーハイボールお願いします

鬼 通ったじゃないか。お前の方がはきはきしてるぞ

A 違うよー。

C あ、もうきた。早いですね (店員とすぐ仲良くなる。約束を取り付けるくらい)

A うわあ、めっちゃ仲良くなってる。
誰とでもすぐ仲良くなれるって、才能だよなあ。いいなあ

鬼 (無言でニコッ)

A あ！違う違うって！

C ん？

鬼、Cを襲う。投げキッス

A あー！！・・・やっぱやさしい。

C うーわー！ 知らない人が飲み物を持ってきたよー！！知らない人だよー！
(Bの陰に隠れる)

B え、ちょ

A めっちゃ人見知りになってる！

C 人がいるよー！

A そりゃお店には人がいるよ！ そんなこと言ってたらうっちー一蘭しか行けなくなっちゃうよ！

鬼 お前の方が、いいぞ。

A なんで、うらやましがっちゃったんだらう。

C わわー。

D ねえ、やめてよ。

CD揉みあっているうちに、Bのところに倒れこむ。

BCD わあ！。

B いてて…

C あ、ごめん…

D ごめん

B いいよいいよ。(さらにおおらかさを際立たせる一言)

A めっちゃ心ひろいね！

鬼、Bを襲う。匂いをかがす

B 死ね(Dをける)

A あーごめんー。

B (どかっと座る)

D (遠くに行き) てかべーやん彼女は？

A なんで遠くでしゃべるの？！

C べーやんの彼女？ もうすぐ来るよ。

A 何言ってるかよくわかったね！—て、彼女？

C なに言おうとしてたかぐらいわかるよ。
A すごい察しがいいなー。さすがうちー、女子力たかいなあ。

鬼、Cを襲う。全く理解できない動き

A うわーしまったー！ごめんうちー大丈夫？
C （女子力低く）そうだよべーやん彼女いるよ！ あれ、アライちゃん知らなかった？ ってもしかしてアライちゃんべーやんのこと、そうなの？そうなんでしょ？ あれあれー？
A …うるさいなー。…わたしはうちーみたいにうまくしゃべれないから。気持ちもうまく言えないから。うちーにはかなわないよ。

鬼、Cを襲う。やさしくない

C あのー、まあ、あれが、そうだから、…まじ、やべえ。
A 要領を得ない…。…まだ私の方がうまくしゃべれるか…
C あの、あれ、あれ、便、する（ハケに向かう）
A …喋るの下手だなー
C わわわわ（逃げてくる）
B お来たか。

彼女がくる。

彼女 こんにちは。
D かわいい。
C （人見知り。逃げる）うわあああ！あのー、まあ、知らない人、あの、やばいわー可愛い彼女だねー…べーやんくん、いいね。
A

鬼、Bを襲う。顔に何かを塗りたくる。

鬼 ヴァアアア
B ぎゃあああ
彼女 きゃあああ！！！！（はける）
D （おろおろする）あ、どこいくの？！ねえ！彼女どっかいったよ！
A ・ ・ どうなっちゃったのかなあ
D あ！ 戻ってきたよ！
A え？

彼女、戻ってくる。不細工になっている。

彼女　　もう、なんだったのよ。
A　　おえええええ！！！！
C　　あの一、まあ、まじ、やばい。
鬼　　恋人いない方がまだましだな。お前の方が。
A　　なんてこというんだよ！性格がいいかもしれないでしょ！
鬼　　うらやみの芽は摘んでおこう。
A　　えー！！！！

鬼、Bと彼女を襲う。おにぎりの包装をやぶく彼女、とんでもなくいやな奴になっている。

B 彼女　　ぎゃあああああ
彼女　　田舎から出てきた修学旅行生たちに新宿駅で嘘の道教えてやった。
A　　最低や一、ごめんねベーやんくん
D　　（Aに）大丈夫？
A　　だいちゃん…。あ！いい、気遣いはいい。やめて！
D　　なんで。ほら（気遣い）
A　　やめてよ！
D　　なんでだよ
A　　いいの！　うらやましがっちゃうぞ！（泣きつくように）
D　　なんだそれ。別にそんな大したことじゃないよ
A　　謙虚だ一

鬼、Dを襲う。おにぎりを食べる。

D, 気遣いをするときにちらちらみてるようになる。凄く恩着せがましい。

D　　大丈夫？　大丈夫？　あ、ここすわる？
A　　なんだよ！　アピールしてくんなよ！　すごいよ！　だいちゃんはやさしいよ！

鬼、Dを襲う。恥ずかしい写真公開。

D　　地べた座ってろ、不細工（彼女が座ろうとする椅子を引く）
A　　ああほら…
彼女　　（はでにずっこける）痛ったあ！
B　　あ！おいてめえなにしやがる！　俺のかわい、（彼女をみて）かわ、かわいじゅく！
彼女　　なにそれ？（近寄る）
B　　よんじゃねえ！！

次第にむしゃむしゃした音が入りはじめる。

彼女 あ？！
D （イスで弁慶の泣き所を攻撃）
B いってえ！
D いひひ。やっぱ不細工だとおもってんだろ。
B このやろ！
C まあ一、ねえ、あの、それがああなあれだからさ。
B 殺すぞ！ 何言ってるかわかんねえよ！
C まあ、あの一あんまり、、よくないよね（彼女が）
B そんなことわかってるわ！
彼女 （びんた）
B あ？！（びんた）

これを機に、小競り合いつつ、みな暴力的になる。会話は聞こえないが、いがみ合っている様子はわかる。

A はは！ ああ・・・ああ・・・あああああ！！！！（イスに全てを投げ出すように座る）

むしゃむしゃ音が消える。次第にAと鬼のみが舞台上に映る。

鬼 お前が一番いい奴になったな。まだしゃべれるし、
A …うん。
鬼 まだ笑えるし——
A うん。
鬼 まだやさしいし、
A …うん。
鬼 仲良くしてやれよ。お前がいい奴なんだから。

Aと鬼、しばらく目が合う。曲が流れる。A、突っ伏すようにうつむく。

暗転

終わり